



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 星 行夫
幹事 吉野 彰芳
SAA 佐藤 政司
会報小委員 遠藤 洵

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail: info@iwakinakoso-rc.jp

2022 - 23 年国際ロータリーのテーマ

イマジン ロータリー

第 2932 回 例会 令和 5 年 3 月 15 日 (水・晴)

ゲスト

勿来消防署

主幹兼副署長 大泉 潤一 様

ロータリーソング 奉仕の理想

ー今月は水と衛生月間、
米山月間ですー

ロータリーの行動規範
小澤啓一 会員



◎会長挨拶ー星 行夫会長

こんにちは、2週間ぶりの例会です。先の例会ではまだ寒かった気候もすっかり春めいて、全国各地から桜の開花宣言が聞かれ始めました。いわきの開花予想は3月23日となっていますが、この暖かさでもっと早くなりそうな予感もします。コロナ関係では、3月13日よりマスク着用が個人の判断に委ねられるようになりました。いわゆるマスク解禁です。そうは言っても、大方の人はマスクの着用をしています。当ロータリークラブにおいても、マスク着用は各人の判断にお任せいたしますので、ご理解をお願いいたします。3月10日はいわき分区の会長幹事会がありました。その中で次回のガバナー補佐の訪問は4月5日に決まりました。プログラム委員の方、宜しくお願いいたします。また、4月16日には分区チャリティー親睦ゴルフコンペが湯本スプリングスで開催されます。こちらの参加も宜しくお願いいたします。そして地区の大きな行事であります地区協議会が、5月13日にバルセいいざか（福島市）で開催されます。多くの方の参加を期待しております。それから訃報ですが皆さんもご存知だと思います。会長を務めて退会された赤津善宣様のご逝去されました。11日、12日にご葬儀があり出席して参りました。故人のご冥福をお祈り申し上げます。さて、本日は外部卓話の日です。本日は勿来消防署の主幹の大泉様をお迎えしております。地域の安全・安心を守る消防署としての活動について、勉強させていただき

たいと思います。大泉様、後ほど宜しくお願いいたします。簡単ですが、会長挨拶とします。

◎幹事報告ー吉野彰芳幹事

- ・米山記念奨学会より「ハイライト米山」が届いています。
- ・国際ロータリー事務所より終年行事報告書が届いております。
- ・なこそ授産所さんより礼状が届いております。
- ・いわき内郷ロータリークラブより週報が届いております。
- ・本日例会終了後に臨時理事会を開催いたしますので理事者の皆さん宜しくお願いします。

◎各委員会報告

◇出席委員会ー湯目 浩小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。なお、本日は出席奨励賞をお渡し致しますので名前を呼ばれた方は前の方へどうぞ。荒川義次会員おめでとうございます。



◇スマイルボックス委員会ー柏原達之小委員長

・外部卓話をされる勿来消防署主幹大泉潤一様へ御

| | | | | |
|------|---------|-----|----------|--------|
| 出席状況 | 正会員数 | 36名 | カード出席 | 0名 |
| | 本日出席会員数 | 28名 | 本日の修正出席率 | 77.78% |

礼申し上げます。星会長、齊藤会長エレクト、吉野（彰）幹事、鈴木（敏）副幹事、大平、木村（義）、鈴木、清水、木幡、影山、嵐、小澤、佐藤（政）、高萩、鈴木（雅）、高野、柏原、湯目各会員・出席奨励賞ありがとうございました。荒川会員・本日早退ごめんなさい。木村（博）会員・ゴルフ愛好会第7回優勝ありがとうございました。

渡邊公平パストガバナー

◇What is Rotary の説明ー星 行夫会長

皆さんのテーブルの上に What is Rotary の冊子があると思います。R I 第 2800 地区の 2017 - 18 年度ガバナーの鈴木さんからまとめた本で渡邊公平パストガバナーへ鈴木さんから 50 冊贈られ、会員の皆さんへ贈呈したいということでボックスに入れておきました。内容がロータリーについて詳しく書かれていますので是非お読み下さい。

◎外部卓話



勿来消防署

主幹兼副署長 大泉 潤一 様

皆さん、こんにちは。勿来消防署の大泉と申します。今日は、消防や救急で現在どのようなことを

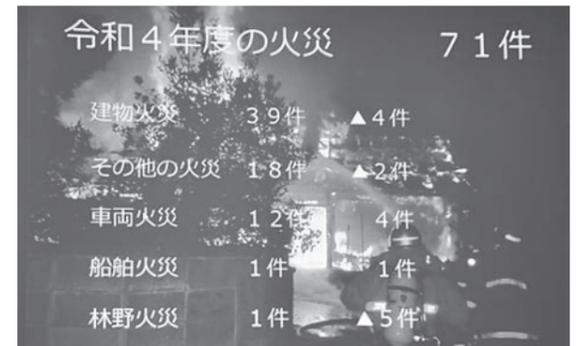
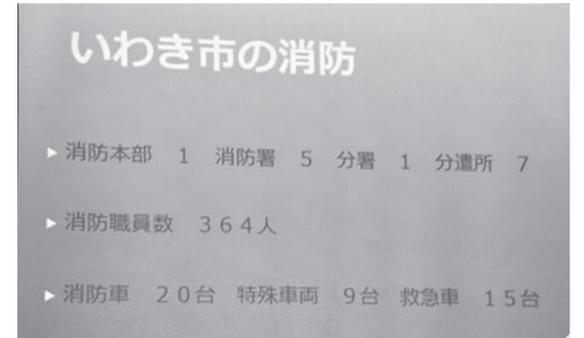
行っているかお話をしたいと思います。

令和 4 年における

いわき市の火災・救急出場現状から

令和 4 年中の火災発生件数は 71 件で、前年と比較し 6 件の減少となりました。主な出火原因第 1 位は「放火（疑いを含む）」の 11 件で、第 2 位は「たばこ」の 8 件、第 3 位は「電気器具」「こんろ」の各 4 件となりました。「放火（疑いを含む）」については、平成 22 年以降、出火原因の第 1 位となっています。放火を防ぐためには、「放火されない、放火させない、また放火されても大事に至らない環境づくり」が重要です。また、近年、トラッキング火災など配線器具からの出火が増えています。火災で亡くなる原因で最も多いのは、「逃げ遅れ」です。「逃げ遅れ」を防ぐためにも火災の発生を感知し知らせる「住宅用火災報知器」を設置しましょう。令和 4 年中の救急出場件数は 15,437 件で、前年と比較し 2,761 件の増加となり、昭和 42 年の救急業務開始以来、最も多くなりました。1 日あたりの出場件数約 42 件（前年 35 件）で、約 34 分 3 秒（前年 41 分 28 秒）に 1 回の割合で出場し、市民の約 24 人（前年 30 人）に 1 人が搬送されたこととなります。増加した原因として、高齢化の進展や新型コロナウイルス感染症の影響が推察

され、軽症者が増加傾向にあります。軽症者の中には、本来救急車を呼ぶ必要がなかった方も含まれることから、限られた救急資源を有効に活用するために、救急車の適正利用をご協力ください。



放火されない、放火させない、放火されても大事に至らない環境づくり

家のまわりの整理整頓しましょう。
物置や車庫などに鍵をかけましょう。
ごみは決められた日に出しましょう。
外灯などをつけ、明るくしましょう。
地域ぐるみで放火防止に取り組みましょう。

